

第29回 法人会全国青年の集い 茨城大会
部会長サミット円卓会議 意見概要 ④

(平成27年11月20日(金) 於：水戸プラザホテル)

テーマ「青年部会活動充実のための部会員増強」

サブテーマ：どうすれば新入部会員を定着させることができるか？

【青年部会全体】

1. 青年部会の理念・目的を明確にする。
2. 会員個人のメリットを明確にする。
3. 日頃の活動等を通じて、仲間意識を高める。
4. 年間スケジュールを明確にする。
5. 仕事上の悩みを気軽に相談できる雰囲気を作る。
6. 気楽に参加できる楽しい雰囲気の会にする。(海外旅行等)
7. 例会等の日程・時間帯・場所・服装等を欠席しがちな部会員が参加しやすいように配慮して設定する。
8. FAXやメールに頼らず、直接、電話で例会等の出欠の確認や参加依頼を行う。
9. SNS(フェースブックのイベント)を活用して、行事の案内等を行う。
10. 情報発信や情報共有を活発に行う。
11. 新しい地元の活きた情報交換を行う。
12. 地元メディアへ各種事業をとりあげてもらう。
13. オブザーバー参加を推進する。
14. 女性の部会員を増やす。
15. 会員の年齢分布を平準化する。

【組織・事業内容】

16. 会社経営や会員自身のためになる事業を実施する。
17. 懇親会、ゴルフ等のコミュニケーションがはかれる親睦行事を行う。
18. ビジネスや仕事に生きる勉強会等の事業を行う。(経営塾・儲かる塾)
19. 地理的なことを配慮して、各地域で事業を開催する。
20. 新入会員同士で結束を図れる事業を設ける。
21. 婚活パーティー等の各種イベントを開催する。
22. 法人会青年部会ならではの企画を立ち上げる。
23. 税務署と関わる機会を増やす。

24. 部会員の企業を視察する事業を行う。
25. 交流会や家族会を開催する。
26. 事業を定例化し、継続する。
27. 他の団体との差別化を図るため、活動の負荷を極端に感じさせないような組織を作る。(雰囲気・会費負担・労力等)
28. 新入部会員をフォローアップするための専門の委員会を設置する。
29. 新入部会員の意見が通りやすい組織を作る。

【役員等の関わり】

30. 部長が熱意を持って行動する。
31. 新入部会員のことを良く把握する。(業種・会社の状況・好きなこと等)
32. 退会を希望する会員の気持ちになって、接し方を考え改善する。
33. 例会や懇親会等の席で部長が新入部会員を紹介する。
34. 特に最初の1年は細かくフォローアップを行う。
35. 役員が中心となってフォローアップを行う。
36. 紹介者が責任を持ってフォローアップを行う。
37. 担当者を決めてフォローアップを行う。
38. 定期的に連絡して熱意を持って例会等の行事に誘う。

【新入部会員に対して】

39. 租税教育活動等の事業の達成感を体感してもらう。
40. 租税教育活動の講師を経験させることで、やりがいを感じてもらう。
41. 租税教育活動等の事業をよく理解してもらう。
42. 事業の企画委員会等に所属させ、所属意識や達成感を体感してもらう。
43. 他の団体とは違う楽しさや事業内容を良く理解してもらう。
44. 新入部会員だけのグループ(ルーキークラブ)を作り、同期同志で親交を深めてもらいながら、会全体の雰囲気に慣れてもらう。
45. 会のメンバーであることに安心感を持ってもらう。
46. 負担にならない程度の役職、役割、責任を与える。(居場所を作る。)
47. 租税教育や研修など適度な負荷をかけることも大切である。
48. 入会后、すぐに役員にする。
49. 全国大会等の行事への参加を促す。

以 上